

に使える「ウェアラブルターミナル」シリーズを販売している。勝田剛常務は「手を自由に使えるだけでなく、伝票記入やハンディターミナルを操作しなくてよい作業効率

えなかったが、同製品は作業性を考え機器を手で操作しなくてもバーコードが読み取れ、両手で作業できるのが特徴。現場目線で設計しており、重さは、100g以下の軽量化

とデータを読み込める業界初の指差し読み取り機能を搭載。使用条件によって異なるが、バッテリーも充電時間約2時間半で約10時間連続使用可能だ。さらに、マイナス20度から50度まで対応し、ほこりや水が機器内に侵入しないよう防水対策も施し、様々な環境で使用できる。画面は、2インチでカラー表示。作業時に手袋をしてい

ても入力できるタッチパネルや音声機能も搭載。勝田常務は「新しい概念の商品として今後、ウェアラブルを確立させていきたい。しっかりと認知度を上



(山田克明)

(提供写真)

大通の交通安全活動② 世間話の中で指示

林次長と末友係長

大通松本望社長、大阪府柏原市)の交通安全対策。今回は配車マンとして働く林直樹次長と末友聡係長に話を聞いた。「ドライバーとは

1日に3回、話をする機会がある。その都度、安全運転などの注意をするようにしている。人間なので一度聞いたことを忘れることはあるが、三度聞けば思い出す」という林次長は、ドライバーとのコミュニケーションを積極的に取り入れる。末友係長も「会社が一丸となって法定速度を順守している。いったん高速道路で交通事故が発生させれば、被害は大きくなってしまふ。業務連絡の際、指示を徹底させている。ドライバーとの世間話でも安全運転を指す。口を酸っぱくして言い続けることが大切」と話す。

また、体調管理についても「対面点呼だとドライバーの顔色を見ることができ。電話連絡の場合は特に注意して会話するようにしている」という。現場サイドの教育が、ドライバーの姿勢にも変化をもたらした。「夜間に乗車

するドライバーの場合、昼間に休息を取る必要があるが、以前は同僚と雑談をする姿が見受けられた。今ではドライバーが率先して休憩するようになった」という。

「休憩時間を明確にするためにも、取引先ときちんと交渉する必要がある。ドライバーが働きやすい環境を作ることが大切」と2人は話す。「ドライバー自身が洗車するようになり、『点呼してください』と言ってくるようになった。今後

も話し合っ、いい関係を作っていきたい」と意気込む。(小西克弥)



林次長



末友係長

「症状が出る

た場合は修理工場に行くか、当社に来ていただければ対応させていただきます。当社で部品だけを購入し、整備工場に商品を持ち込んでもらえばコスト削減はできる」と語る。

「M」XOの効率の低下にク・パグルタの後輪を交換するだけで、100の実現。アルは、2材チツ

た場合は修理工場に行くか、当社に来ていただければ対応させていただきます。当社で部品だけを購入し、整備工場に商品を持ち込んでもらえばコスト削減はできる」と語る。

「M」XOの効率の低下にク・パグルタの後輪を交換するだけで、100の実現。アルは、2材チツ

た。現場の来場

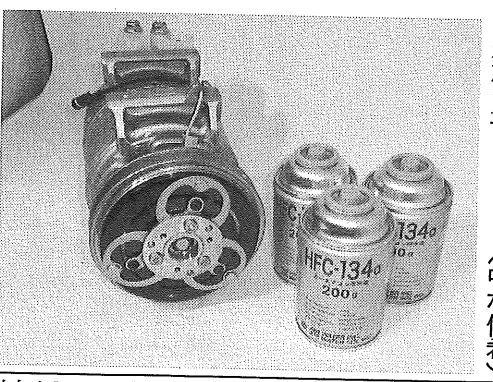
クーラーキャンペーン実施

太田美品通商 修理など低価格で

太田美品通商(太田剛進社長、大阪府東大阪市)は、8月1日から9月30日まで、「クーラーキャンペーン」を実施する。クーラー周りの部品の点検と、故障している部分の修理作業などを低価格で提供する。

太田社長は「エアコンの使用時に違和感がある場合は、すぐに点検していただきたい。壊れたまま使用すると周りの部品にも影響し、余計な修理費が掛かってしまふ。整備工場やディーラーにすぐ持って行けば故障を未然に防げる」と語る。

また、シーズンに入り、エアコンガスと発表



(中村優希)

「M」XOの効率の低下にク・パグルタの後輪を交換するだけで、100の実現。アルは、2材チツ